

授業改善書

科目名	保育内容の研究(表現－身体)Ⅱ
担当者	石川基子

授業の概要

子どもの感性と表現を育むために、学生自身が環境によって影響を受ける感性や身体表現を実際に体験し、表現者としての自分自身を成長させ、同時に保育者として子どもへの理解をも深められるよう指導する。伝承あそびやフォークダンスを通して時代や地域が育んできた身体表現について指導する。運動会の演目を創作し、指導を行う模擬保育を実施し、指導計画・環境設定・言葉かけなどを指導する。

授業の問題点

「質問や発言をしましたか」「ノートを取りましたか」の項目の評価が低かった。

授業改善の課題・方策

本科目は、学生同士のグループワークによるアクティブ・ラーニング主として進めてきた。グループ内での発言や発表が一部の学生が担う場面が見られたので、多くの学生がより積極的に協同できる授業運営を行う。また、個々の発表の場を設ける。実技科目なので授業内での板書は少ないので、評価が低かったと言える。

全体的に評価は高かったが、この結果に甘んじることなくより良い授業を計画し丁寧な指導を行っていく。

その他